

今夏(7、8月)の電力需給実績

2019年9月27日
北陸電力株式会社

当社は、今夏の当社エリアにおける電力需給実績について取りまとめましたので、お知らせいたします。

今夏は、志賀原子力発電所の運転停止が継続する中、七尾大田火力発電所2号機の長期停止により、非常に厳しい需給状況が想定されたため、他の火力発電所や水力発電所の運転等により供給力の確保に努めてまいりました。

天候等の影響によりお客さまの使用量（最大電力）が高い日もありましたが、安定して電気をお届けすることができました。

今後も、当社としては電気設備の保守点検を確実に実施する等、引き続き電気の安定供給に努めてまいります。

お客さまにおかれましては、引き続き電気の効率的なご使用にご協力をお願い申し上げます。

以 上

別紙：今夏の電力需給実績の概要

今夏の北陸エリア電力需給実績の概要

2019年9月27日

こたえていく。かなえていく。  北陸電力

1. 今夏の需給バランス

1

- 今夏(7・8月)の北陸エリアの最大電力は、8月7日(水)14時～15時の521万kWであり、当初見通し(8月)を8万kW下回った。
- 志賀原子力発電所、七尾大田火力発電所2号機が停止している中、厳しい需給状況は継続しているが、供給力確保に努めた結果、期間を通して安定供給に必要な予備率を確保できた。

■今夏の需給バランス

[万kW]

	最大電力発生日 8/7(水)実績	当初見通し (8月)	(参考) 予備率最小日 8/5(月)実績
供給力	586	569	541
最大電力	521	529	505
予備力	65	40	36
予備率	12.4%	7.6%	7.1%

■予備率の実績(7・8月の平日)

	5%未満	5%以上 8%未満
2019	0日	3日
2018	0日	0日
2017	0日	5日

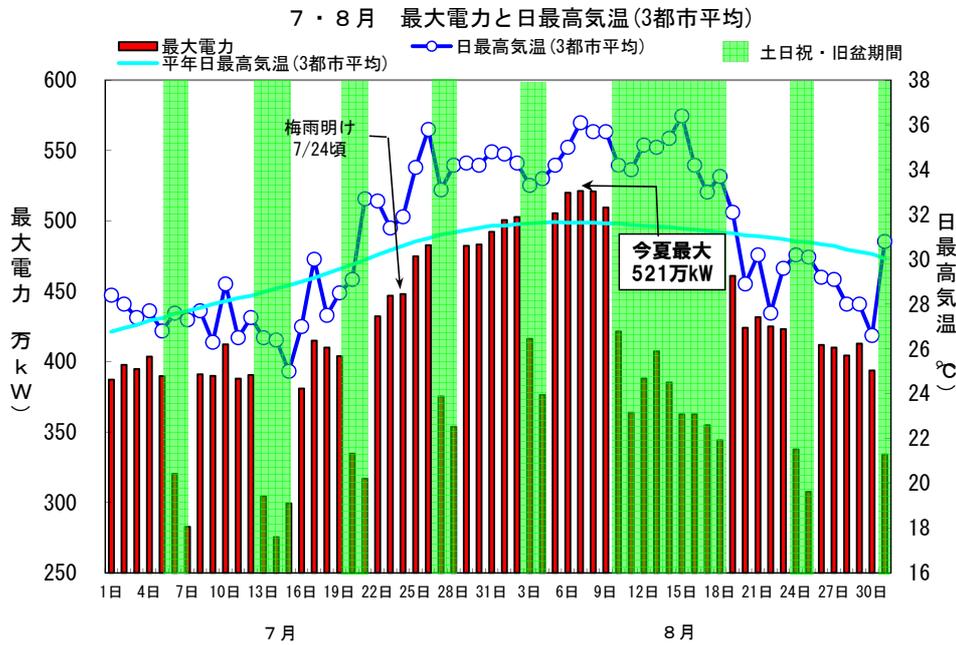
※ 実績は一部推計値を含む

※ 「当初見通し(8月)」は2019年4月26日に公表した猛暑の場合の見通し

※ 四捨五入の関係で計算が合わない場合がある

- 7月、8月とも、平年より平均気温が高く、猛暑日(日最高気温35℃以上)も多かった。

<最大電力と気象状況の推移>



■ 猛暑日(最高気温35℃以上)

	7月	8月	計
2019	2.0日	6.0日	8.0日
2018	8.0日	10.7日	18.7日
平年	1.2日	2.9日	4.1日

■ 平均気温比較

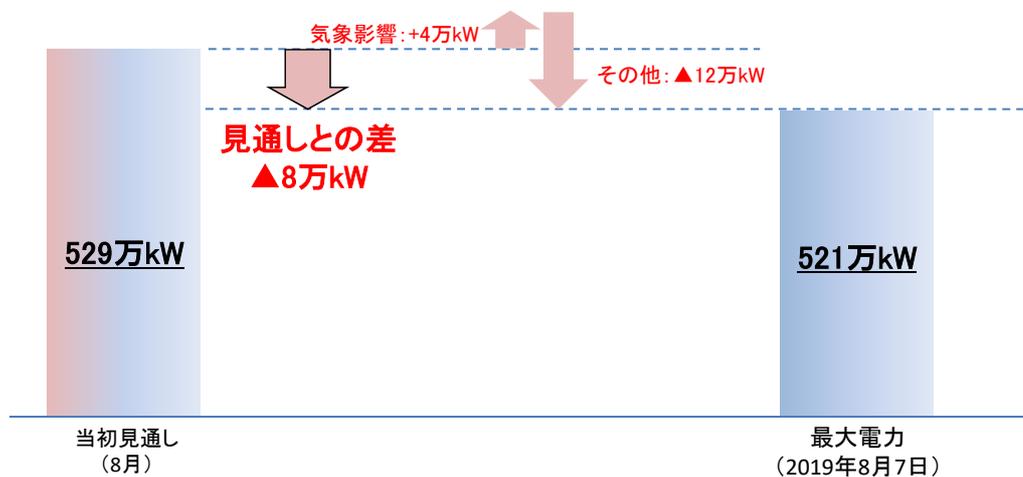
	7月平均気温	8月平均気温
2019	25.7℃	28.1℃
2018	28.4℃	28.2℃
平年	25.3℃	26.9℃

※猛暑日、平均気温は3都市(富山市・金沢市・福井市)平均

3. 今夏最大電力の見通しと実績との比較

- 当初見通し(8月)では、2010年度並み猛暑となった場合の最大電力を529万kWと想定。最大電力の実績は521万kWとなり、見通しを8万kW程度下回った。
- 差異の内訳は、気象影響分が+4万kW程度、その他(景気影響等)が▲12万kWと推定。

<今夏最大電力実績と見通しとの比較>



こたえていく。かなえていく。

